

(別紙5)

整理番号 2022P-138
補助事業名 2022年度 障がいのある人が幸せに暮らせる社会を創る活動 補助事業
補助事業者名 社会福祉法人 日本点字図書館

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

録音雑誌「医学研究」「ホームライフ」の製作・配布により、視覚障害者の就業継続に必要な医療情報及び自立した生活を送る為に必要な生活情報を必要な時に入手することを可能にすることで、当事者及びその支援者にとって質の高い生活を提供し、支援することが目的です。

(2) 実施内容

事業のご報告 <https://www.nittento.or.jp/report/jka2022.html>

視覚障害者で、就業継続に役立つ医療情報を必要とする方、および日常生活に関する各種情報を得ることを希望される方を対象に、録音雑誌「医学研究」「ホームライフ」を発行しました。発行は毎月1回（2022年4月より2023年3月まで）、全国の読者へ毎月約5,600枚（年間約67,000枚）、および全国の点字図書館、療養施設、特別支援学校へ毎月140箇所（年間約1,680枚）の配布を行いました。また、視覚障害者のための電子図書館「サピエ図書館」に音声データを掲載し、インターネットを介しても随時利用できるようにしました。

なお、録音CD雑誌の無料配布という形で情報を提供しているため、利用者は手元に置いておく事が可能です。本人が必要なときに必要な情報を素早く確認することができます。



(別紙5)

2 予想される事業実施効果

情報障害とも言われる視覚障害者にとって、情報入手の際に利用できる媒体は、限られているという現状があります。ラジオやテレビ以外で情報を得ることが難しい読者にとって、当館の録音雑誌での情報提供は一定の効果があり、就労支援および自立支援のためのオリジナルコンテンツを提供する事業は、多くの利用者から必要とされています。

製作にあたっては、視覚障害者にとってニーズの高い情報を中心に、常に最新の情報を提供することを心がけました。2022年度は、「医学研究」では鍼灸技術のみならず、コロナ禍の影響による消毒荒れや患者への接遇・対応など施術以外の情報も取り上げました。「ホームライフ」では、デパートのアテンドサービスや視覚障害者向けヨガ教室の様子を収録し、好評を博しました。これらのように、就労に役立つ医療情報や、日常生活を送る上で参考となる情報は、生計を立てることや生活の質を高める上において、重要な情報といえます。他に同様のサービスはなく、当館の録音雑誌を通して新鮮な情報を得ることは、読者にとってたいへん有益であり大きな効果があります。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

録音雑誌「医学研究」「ホームライフ」(2022年4月号～2023年3月号)

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 社会福祉法 日本点字図書館 (ニッポン テンジ トショカン)

住所： 〒169-8586 東京都新宿区高田馬場1-23-4

代表者： 理事長 長岡 英司 (ナガオカ ヒデジ)

担当部署： 総務部総務課 (ソウムブ ソウムカ)

担当者名： 石塚 雄教 (イシヅカ タケノリ)

電話番号： 03-3209-0241

F A X： 03-3204-5641

E - m a i l： nitten@nittento.or.jp

U R L： <https://www.nittento.or.jp/>